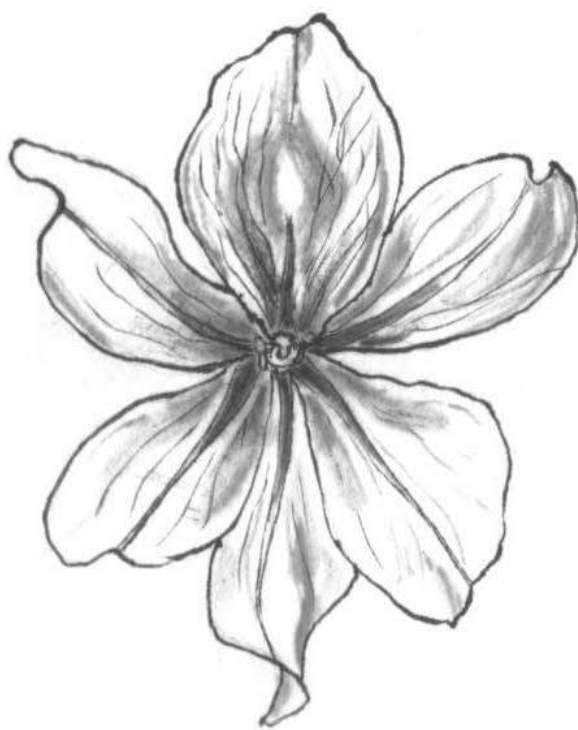


# 水トラストニュース

2021.12 No.45



## もくじ

リニア中央新幹線トンネル掘削残土が御嵩町に埋められるかもしれません そもそもリニア新幹線は夢の鉄道なのでしょうか	..... 1
水トラスト元事務局メンバー・安藤直彦さん(1932.1.30-2021.3.30)の夢は、 戦争中に乱伐されたはげ山を緑にすることだった！	..... 4
2020年度 収支決算報告	..... 6

# リニア中央新幹線トンネル掘削残土が御嵩町に埋められるかもしれませんが そもそもリニア新幹線は夢の鉄道なのでしょうか

大沼淳一

御嵩町に再び廃棄物問題が浮上しています。当時東洋一と称された巨大産廃処分場計画が持ちあがり、町長暗殺(未遂)事件を経て、全国初めての産廃処分場の是非を問う住民投票によって立地を阻止してから 23 年が経っています。今回はリニア中央新幹線トンネル掘削残土が美佐野地区に持ち込まれるかもしれません。その中には水質汚染を起こす有害残土(JR 東海は要対策土と呼んでいる)が含まれています。

有害残土による水質汚染事件は各地で発生しています。筆者が 50 年前に調査を担当した犬山市で起きたカドミウム米発生事件では、原因が採石場でした。高度経済成長と連動した建設ブームのさ中、美濃帯に属する岩盤が発破で掘り崩され、細かく砕かれてコンクリートの骨材として盛んに出荷されていました。粉々になった岩屑が散らばる採石場構内の水たまりの水が硫酸酸性でカドミウムなどの有害重金属が含まれていることを発見し、さらには岩を砕いて蒸留水を加えると同じ成分が溶け出してくるを見つけました。この水が農業用水に流れ込んで水田を汚染したのです。岩盤には黄鉄鉱が含まれていて、それが雨水と化学反応を起こして硫酸を生成するのです。対策として、国費 10 億円をかけて水田の除染と客土が行われました。

2003 年、再び美濃帯岩盤由来の水質汚染が発生しました。可児市久々利区大萱の新滝が洞池で、放流されたマスが大量死したのです。原因は、この池の上流に建設された東海環状自動車道トンネル掘削残土 86 万トンの処分場でした。残土に含まれていた黄鉄鉱が雨水や地下水と反応して硫酸が生成し、この硫酸がカドミウムなどの重金属類を溶かすのです。様々な対策が採られたにもかかわらず、事件発生以来 17 年を経て、まだ汚染水の発生は止まっていません。まとまった雨が降ると新しい化学反応が起きてしまうのです。

岩盤に含まれる鉱物は黄鉄鉱だけではなく、蛍石のようにフッ素を溶出するものや、ヒ素、ホウ素を溶出する鉱物もあります。瑞浪市ではウラン鉱床の近くを掘るのでウランも心配です。瑞浪市の南外垣内工区や春日井市の西尾町工区など、すでに東濃地方各地で始まったリニア新幹線工事現場からは、様々な有害残土の発生が報道されています。JR 東海はこの有害残土の処分場を探しており、白羽の矢が立ったのが御嵩町美佐野と中津川市千旦林です。

美佐野の処分場候補地は大きなハナノキ群落のある素晴らしい湿地です。ハナノキは岐阜県東部、愛知県北西部、長野県南部にしか生えていない固有種で、環境省のレッドリスト絶滅危惧Ⅱ類ですし、愛知県の木にも指定されています。最大のハナ



2021 年 11 月の活動より

ノキ群落は中津川の千旦林にあり、美佐野の群落はそれに次ぐスケールではないかと発見者は言っています。この貴重な湿地の半分は町有地で、残り半分が民地です。JR 東海は町有地のほうを有害残土処分場に、民地のほうに一般残土を入れることを計画しています。JR 東海の提案に対して、御嵩町の渡辺町長は慎重な姿勢でしたが、本年 9 月 9 日、「消極的賛成だ」として、JR 東海との協議に入ることを表明しました。町有地を売却か賃貸か、処分場の遮水工の方法などについては未定で、今後学識経験者による検討会を考えているとされています。

この発言を聞いて美佐野地区を含む地元上之郷自治会が動き出し、10 月 31 日に上之郷公民館で勉強会が開催され、筆者が講師を務めました。可見市久々利で発生した酸性汚染水が 17 年を経てまだ収まっていないこと、JR 東海が提案する二重遮水シートの安全性には様々な疑問があること、黄鉄鉱以外にも様々な鉱物があって汚染物質の種類や処理方法も違ってくこと、JR 東海が計画している汚染残土発見のための検査頻度が不足していることなどを指摘しました。

静岡県工区では大井川の水が毎秒 2 トン減少する可能性が出てきて、県知事や流域自治体から疑問と懸念が示されて着工すらできていません。東京では外環道工事で陥没事故が発生し、40m 以深の地下工事では土地所有者の許可が要らないとする大深度地下法への疑問が生じて、田園調布の住民などによるリニア工事差し止め訴訟が起こされています。中津川や長野県豊丘村の工区では落盤事故が発生して犠牲者が出てしまいました。山梨県の工区では集落の水道水源や水田の水枯れが起きています。問題山積のリニア新幹線問題から目が離せません。

## リニア新幹線そもそも論

リニア中央新幹線とは、JR 東海が 9 兆円の予算のもと単独で計画し、東京・名古屋間を 40 分、東京・大阪間を 60 分で結ぼうという事業です。当初は名古屋までが 2027 年に完成し、大阪まで開通するのは 2045 年だとされていましたが、安倍元首相の一声で 3 兆円の財政投融资が投入されて名古屋大阪間を 2037 年まで前倒しすることになってしまいました。つまり一種の公共事業になってしまったのですが、JR 東海の情報公開は進んでいません。しかも、財政投融资は破格の条件(無担保、金利 0.8%、30 年間の元本返済猶予)なのです。リニア計画を引っ張ってきた JR 東海の葛西敬之名誉会長は、安倍晋三首相と深い「お友達関係」(週刊誌では「師と仰がれる」とも)にあることは周知の事実です。

零下 269 度に冷却された超電導リニアモーターを推進力にして時速 500km で突っ走る。夢の超特急だという触れ込みですが、そうでしょうか。すでにフランスの TGV(テージェーヴェー)は通常のレールで通常のモーターを使って時速 500km を実現しています。この従来技術による走行に比べると、超電導リニアモーターはエネルギー効率が低く、高速で走ることによる空気抵抗も増して、同じ距離を走る新幹線と比べて 4~5 倍の電気を浪費するということが明らかになっています。また、全路線(名古屋・東京間 286km)の内 86%がトンネル走行であり、いわば地下鉄みたいなもので、一度くらいは話のタネに乗ってみたいかもしれませんが、何度も乗りたい乗り物ではないだろうと思われます。

JR 東海の宣伝文句によれば、リニア新幹線の目的は以下の 2 本柱のようです。1)近い将来に必ずやってくるという東南海大地震で東海道新幹線が寸断されたときへの備えとして新幹線を 2 系統化する。2)東京・名古屋・大阪 6000 万人のメガロポリスが実現し、日本の繁栄発展を支える。

1 本目の柱は、地質学者・石橋克彦さんの「リニア新幹線と南海トラフ巨大地震(集英社新書)2021」で論破されています。大地震の時でも地下は揺れが小さいので大丈夫と言うのが JR 東海の言い分ですが、リニア新幹線ルートは東京・名古屋間で糸魚川・静岡構造線(フォッサマグナ)を含む 7 つの大活断層を横切っていて、さらに大阪まで 5 か所、合計 12 か所の大きな活断層を横切っているのです。断層がずれればトンネルには食い違いが生じて、列車は激突することになるというのです。地震を感知して停車する仕組みはありますが、到底間に合わないだろうとも指摘されています。また、新幹線はリニアも含めて人間の輸送だけに限られています、大震災が起きた後で重要なので人員の輸送ではなく貨物の輸送なので、大震災の備えとしては役に立たないという指摘もあります。東日本大震災でも、東北新幹線は長い間不通となりましたが、在来線の復旧が貨物輸送を支えました。

2 本目の柱は一層深刻な問題とぶつかっています。日本国の人口減少は誰もが認める確実にやってくる未来です。2005 年に 1 億 2729 万人でピークとなって以降減り始め、2050 年に 1 億人を切り、2060 年には 8674 万人になると予測されています。生産年齢人口(15~64 歳)はもっと悲惨で、2050 年には 5000 万人を割り込みそうです。人口が 8000 万人台で、6000 万人が東京・名古屋・大阪メガロポリスに住む国とはどんな社会なのでしょう。誰が農林水産漁業を支えるのでしょうか。この歪(いびつ)な未来を構想する人たちに未来を託すことは極めて危険です。さらには、コロナ禍で働き方が大きく変化し、新幹線で移動しなくても仕事が回っていく人々が増えていることも重要な要素です。

在来型新幹線が開通した地方では様々な異変が報告されています。信越線は軽井沢~横川駅間が 3 セクどころか廃線となり、つながっていません。東北本線、北陸本線、奥羽本線などはいつのまにか途中が 3 セク鉄道になってしまいました。本線以外の赤字路線も次々と 3 セク化され、一部の例外を除いてほとんどが赤字に苦しんでいます。こうなると、列車の本数もどんどん減らされます。新幹線の乗り入れでにぎわっていると報道される金沢では、東京からの観光客のために近江市場の取扱商品が変わってしまっ、市民の台所ではなくなりつつあるということです。

かつては東京・名古屋間が 5 時間、東京・大阪間が 8 時間で、日帰り出張が難しかったのですが、新幹線が開通してからは日帰り圏となりました。このため東京一極集中がさらに進みました。東海道ベルト地帯にあった 3 つの拠点地域が消滅して東京だけになってしまい、企業本社の東京移転が増えたそうです。これをストロー現象と言います。近いところでは、岐阜の商店街のさびれ方を見ていると、名古屋に買い物客を吸い取られている構造が良くわかります。長野や富山では、新幹線駅周辺に域外企業が進出してミニストロー現象が起きていると言われています。

国鉄分割民営化が間違いの始まりでした。JR 北海道や JR 四国では全路線の赤字が続き、ローカル線の切り捨てが激しく進んでいます。都市圏で上がった利益を地方の赤字路線に回して、国全体の人々が鉄道の恩恵を享受することが基本であるべきです。この点でヨーロッパ各国では公共交通サービスは公的主体が責任を持つことが徹底していて、ドイツ、オーストリア、スイス、フランスなどは国営鉄道です。イギリスは 1997 年に民営化されましたが、国営に戻りつつあります。

ことはリニア新幹線の是非だけでなく、目指すべきこの国の形の問題にかかわっているのだと思います。脱炭素と関連して、持続可能な社会、脱成長社会が議論されていますが、その文脈の中でリニア新幹線問題が全国的議論の中で再検討されるべきなのではないでしょうか。

## 水トラスト元事務局メンバー・安藤直彦さん(1932.1.30-2021.3.30)の夢は、戦争中に乱伐されたはげ山を緑にすることだった！

安藤さんは、ノリタケを退職後、エントロピー学会名古屋懇話会世話人を長く務められました。私が知り合ったのは、エントロピー学会名古屋懇話会の催しに一般市民として参加した頃です。1980年代後半、高度経済成長期が終ってバブル期に入る頃には廃棄物問題が全国的に広がり、名古屋でも藤前干潟のゴミ埋立て問題に市民が立ち上がりました。1990年代後半には、岐阜県御嵩町に巨大産業廃棄物処分場計画が持ち上がり、木曾川の水が危ないと下流域の市民も立ち上がりました。安藤さんとは、そんな市民運動の付き合いだけでなく、白草山や糸瀬山などの登山や、岐阜県加茂郡白川町黒川の大豆畑トラスト夏祭りなども一緒しました。そんな折り、安藤さんは、岐阜県山間部や愛知県山間部の林業事情についてよく話をしてくださいました。その筈です、2010年3月には、京都大学の農学博士号を取得されています。研究課題は、「中山間地域における小規模林家の存立条件」です。



以下に、安藤さんの人となりを知るインタビュー記事を転記し、また、安藤さんが現在の岐阜県中津川市加子母村や愛知県岡崎市額田町・長野県根羽村に通って調査された博士論文の要旨を掲載します。10年ほど前の調査ですが、今も大きく改善はされていない林業事情についての解析です。(大沼章子)

### 朝日新聞 2021年1月30日「戦後、一変 大人は信用ならぬ 語り継ぐ戦争」転載

名古屋市中区のいまの地下鉄久屋大通駅の近くに住んでいた。空襲で焼かれる前は江戸時代の町並み残り、小さな自営業の家がほとんど。うちもご近所相手の呉服商だった。

おやじは昭和16(1941)年10月、召集された。海軍の陸戦隊です。38歳だったが、大正の軍縮時代にも軍隊に行っており、海軍にとっては貴重な経験者だったらしい。フィリピンに敵前上陸し、ラバウル、ニューギニアまで行った。「死の行進」を生き延びて、19年はじめ、病院船で帰ってきた。家にも1週間ほど戻ってきたが、栄養失調で顔がむくみ、叔母は誰か分からなかったそうだ。同年8月ごろ、また南方へ出撃命令です。お袋に連れられ、僕ら子ども3人も広島の呉に会いに行き、最後の別れをした。

戦後、生死が分からなかった。お袋は新聞に復員の記事が出ると、目を皿にして読んでいた。「20年4月、ルソン島で戦死」という公報が届いたのは23年ごろ。白木の箱は名前が書かれた紙だけが入っていた。

名古屋空襲で家が焼かれたのは20年3月12日です。街路樹のプラタナスの間に残った防空壕に入っていたが、お袋が家の様子を見に行ったら直後、焼夷弾が防空壕の入口に落ちた。先端から炎が吹き出した。とっさに妹の手を引き、号を飛び出した。髪の毛が焦げるにおいがした。一瞬遅れたら死んでいた。県庁の守衛室で夜を過ごした。

その後、八開村(現愛西市)のおやじの実家の離れに住んだ。旧制愛知一中から津島中学校に転校した。一中は防空壕掘りや工場動員ばかり。授業に追いつくのは大変だった。特に英語に苦労した。

終戦の玉音放送は中学の講堂で聴いた。ひどい雑音だった。これで空襲がなくなる。正直ほっとした。津島でも機銃掃射があった。元は軍国少年だが、家を焼かれた頃から内心、戦争に疑問を持っていた。

校長はこの時、「日本は負けた」と言った後で、涙ながらに「このかたきは、君たちがとってくれ」と何百人もの生徒に向かって話した。学校の小銃を校庭に埋めて隠させた。ボクも穴を掘らされた。密告されたの

か、銃は占領軍に見つかり、校長は連行されていった。

ところが、その後、戻ってくると、校長は変わった。そのまま職にとどまり、「これからは民主主義だ」「平和国家だ」と言い出した。元は英語教師だった。他の教師も同じ。大人は信用できないな。あれからそう思うようになった。

戦後、名古屋に戻った。家は丸焼けだったが、土地はうちのもの。バラックを建て、駄菓子屋を始めた。氷、果物、何でも売った。お袋は過労で結核になった。まだ弟や妹が高校や中学のころ。名古屋大工学部 3 年生だった僕が半年以上、商売をした。卒業後、ノリタケに勤めたが、72 歳になって京都大学農学部大学院に入った。高校時代から、戦争中に乱伐されたはげ山を緑にする勉強がしたかった。その夢がかなった。同級生と 50 年の年齢差があった。(伊藤智章)

### 「中山間地域における小規模林家の存立条件」(2010.3.23)要旨

中山間地域の小規模林家では林業不振による林業離れが問題になっているが、その一方で用材生産が活発な地域もある。本研究は、このような背景に基づいて、林業活動の活発な地域(岐阜県加子母)とそうではない地域(愛知県額田および長野県根羽)との比較研究から、林家の存立条件を明らかにすることを目的としたものであり、成果として評価すべき点は以下の通である。

1. 加子母において実現されているように、優良材の生産が積極的に行われていること、それを適正に評価する仕組みが地区にビルトインされていることが販売利益確保の要因であることを明らかにした。また、地区内の路網密度の高さ、林業の担い手が地区内に在住、かつ勤務していること、共販所の存在も素材が高い販売価格で取引されるために重要な役割を担っていることを示した。
2. 行政による過去の施策、特に村有林の分譲による山林の私有化、および行政による植林奨励がもたらした私有林への植林推進といった歴史的経緯が、個々の林家の所有山林に対する関心の度合いに影響していることを示した。販売林家割合、単位面積あたりの保育時間、販売材積などいずれも加子母 > 額田 > 根羽の順で多く、特に加子母で行政の過去の施策が林業の活性化に影響していることを明らかにした。
3. 加子母にみられるように、林業クラブ・森林組合さらに地区内の林業・木材関連企業の自発的な活動が主役を務めている地区では、行政は必要な支援は行いが実践は「民」に任せられることによって高い共存意識が養われ、これが林業の活発化に貢献していることを示した。
4. 額田地区と加子母地区の人口減少率は際立って小さいが、これと林業経営との関係について次の点を明らかにした。加子母の人口減少率を小さくしているのは木材関連の地域内発型の企業であり、地元発の産業を新たに興して事業を村内に取り込むことで人口の流出を食い止めてきた。一方、額田は自動車関連工場へのアクセスの良さから後継車の大部分が恒常的勤務についている。人口維持の視点からだけであれば満足できる状況だが、林家の存続の視点でみると楽観できない。根羽は地理的にみて不利な状況にあり、隣家の存続という視点で不可欠な定住化には問題を残している。



# 2020年度 収支決算報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
(資金収支の部)				
<b>I 経常収入の部</b>				
<b>1 会費収入</b>	<b>100,000</b>	<b>84,000</b>	<b>16,000</b>	
1) 正会員会費収入	40,000	40,000	0	正会員年会費 2000円×20名
2) 支持会員会費収入	60,000	44,000	16,000	支持会員年会費 2000円×22名
<b>2 事業収入</b>	<b>100,000</b>	<b>219,511</b>	<b>△ 119,511</b>	環境大学講座参加費と助成金,木売り上げ
<b>3 補助金等収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
1) 民間補助金収入	0	0	0	
<b>4 寄付金収入</b>	<b>200,000</b>	<b>197,000</b>	<b>3,000</b>	
1) 寄付金収入	200,000	197,000	3,000	個人有志より
<b>5 借入金収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
1) 借入金収入	0	0	0	
<b>6 雑収入</b>	<b>55,010</b>	<b>19,108</b>	<b>35,902</b>	
1) 雑収入	5,000	0	5,000	総会、新年会の会費残など
2) 保険料	50,000	19,100	30,900	ボランティア保険参加者負担分
3) 受け取り利息	10	8	2	預金利息
<b>経常収入合計</b>	<b>455,010</b>	<b>519,619</b>	<b>△ 64,609</b>	
<b>II 経常支出の部</b>				
<b>1 事業費</b>	<b>300,000</b>	<b>226,021</b>	<b>73,979</b>	
1) 水源林の保護育成事業	100,000	127,850	△ 27,850	水源の森みたけ森林管理、ボランティア保険、他
2) 水源地域環境保全のための政策提言事業	100,000	55,817	44,183	丸太運搬、チルホール、のこぎり替刃、他
3) 環境保全啓発事業	100,000	42,354	57,646	水トラストニュース印刷製本発送費
<b>2 管理費</b>	<b>165,000</b>	<b>142,402</b>	<b>22,598</b>	
1) 役員報酬	0	0	0	
2) 給料手当	0	0	0	
3) 臨時雇賃金	0	0	0	
4) 福利厚生費	0	0	0	
5) 会議費	12,000	12,000	0	理事会1回 総会1回 役員会12回
6) 旅費交通費	0	0	0	
7) 通信運搬費	10,000	402	9,598	切手
8) 消耗什器備品費	0	0	0	
9) 消耗品費	8,000	0	8,000	
10) 印刷製本費	10,000	10,000	0	資料代
11) 光熱水料費	0	0	0	
12) 賃借料	120,000	120,000	0	事務所賃借料
13) 諸謝金	0	0	0	
14) 租税公課	0	0	0	
15) 雑費	5,000	0	5,000	
<b>3 予備費</b>	<b>15,000</b>	<b>0</b>	<b>15,000</b>	
1) 予備費	15,000	0	15,000	
<b>経常支出合計</b>	<b>480,000</b>	<b>368,423</b>	<b>111,577</b>	
<b>経常支出差額</b>	<b>△ 24,990</b>	<b>151,196</b>	<b>△ 176,186</b>	
<b>III その他資金支出の部</b>				
<b>1 固定資産取得支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
1) 水源の森土地取得費	0	0	0	
<b>2 借入金返済支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
1) 借入金返済支出	0	0	0	
<b>その他資金支出の合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 24,990</b>	<b>151,196</b>	<b>△ 176,186</b>	
前期繰越収支差額	966,431	966,431	0	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>941,441</b>	<b>1,117,627</b>	<b>△ 176,186</b>	

# 気軽に、楽しく 山仕事に参加しませんか

とき： 毎月第2土曜日およびそれに続く日曜日

集合場所： 御嵩町・中公民館（名鉄広見線・御嵩口下車、すぐ）

集合時間： 午前10時（日曜日に日帰りの方も同じ時間に中公民館にお越し下さい）

参加の方法：電話、ファックス、電子メールなどで申し込んで下さい。

申し込み・お問い合わせ先：TEL & FAX 052-735-5453 (市村)

e-mail: mitake500np@yahoo.co.jp

参加者の服装・持ち物：長袖、長ズボン、作業の出来る履き物、弁当、水筒

表紙の絵は早川しょう子さん作



今年も「環境デーなごや」はオンラインで開催されました。

<http://www.kankyoday.com/chuogyoji/>

動画はYouTube「環境デーなごや」で検索

## 発行

特定非営利活動法人 みたけ・500万人の木曽川水トラスト

〒464-0850 名古屋市千種区今池3-12-3

丸美タウンマンション今池205（←2020年11月より）

郵便振替00840-5-137369（←2018年5月より）

URL <http://mitake500np.na.coocan.jp/>

e-mail [mitake500np@yahoo.co.jp](mailto:mitake500np@yahoo.co.jp)